

2010年7月29日

【新規格付】 三井住友ファイナンス&リース 証券コード：非上場
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）： A+

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

三井住友フィナンシャルグループ(SMFG：中核銀行の三井住友銀行の発行体格付=A+)が60%、住友商事(証券コード：8053、発行体格付=AA-)が40%出資する総合リース大手。両社の営業基盤や経営資源を活用できるのが強みだ。リース・割賦債権については取扱機種や業種構成でバランスがとれており、安定した営業基盤を確保している。

市場の縮小に伴って業界全体に下押し圧力がかかっており、リース取扱高の減少が続いている。厳しい環境下、同社においても取扱高が弱含みで推移しているものの、資金原価控除前売上総利益をベースとした営業資産利益率は比較的高く経費効率も悪くない。2009年3月期以降、信用コストが高止まりしている点には留意が必要だが、それを加味してもコスト吸収力はAゾーンに見合う水準を維持している。物件価値変動リスクのウェイトは増加傾向にあるものの、リスク耐久力もAゾーンとして問題ない。SMFGのグループ管理の枠組みのなかでリスクマネジメントは適切に運営されており、想定を上回る過大なリスクを抱える可能性は低いとみている。短期借入比率は高いが、三井住友銀行を中心に主要金融機関との結びつきは強く、資金調達面での不安は小さい。

SMFGグループにおける戦略的重要性が高いうえ、同グループとの一体性も強く、今後もSMFGグループ全体の信用力と大きな差がつく可能性は低い。

当該格付に適用した主要な格付方法は「R&Iの信用格付の基本的な考え方」及び「金融コングロマリットの格付の考え方」である。これらの格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに下記ウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

【格付対象】

発行者：三井住友ファイナンス&リース（証券コード：非上場）

名称	第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
発行額	200億円
発行日	2010年8月5日
償還日	2015年8月5日
表面利率	0.676%
格付	A+（新規）
社債管理者	不設置（財務代理人は三井住友銀行）
担保提供制限	国内で今後発行する他の無担保社債 （担付切替条項が特約されている無担保社債を除く）
他の財務上の特約	なし

☆発行体格付： A+ [格付の方向性：安定的]

発行体格付は、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付は、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付は、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付を下回る、または上回ることがある。